

- 1 開催日時 令和7年5月13日（火） 13時50分から15時30分まで
- 2 開催場所 飯田小学校 家庭科室
- 3 出席委員 露木里江子、小野逸子、白井竜之、鈴木美枝子、中村 毅、鈴木大輔、廣瀬亜紀子
- 4 欠席委員 杉山邦司
- 5 オブザーバー 神谷匠（東部協働センター）
- 6 学 校 勝亦英彦（校長）、町田全広（教頭）、森島広人（主幹教諭）、河村拓実（生徒指導）、小林知美（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 小林知美
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木大委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について
- （2）飯田小いじめ防止基本方針について
- （3）学校評価（アンケート項目）について
- （4）学校運営協議会の自己目標について
- （5）「夢育やらまいか」意見書について

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営の基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ PTAでは、今年度あいさつの標語募集はやめ、あいさつ運動を1～3年・4～6年に分けて年2回行う予定。来年度からは、全体で年2回やっていきたいと考えている。また、あいさつ運動に参加してくれる保護者が不審者に見られないように考えていきたい。（中村委員）
- ・ タブレットの持ち帰りは、家での扱い方が不安だと思う。（小野委員）
- ・ ICTの活用では、情報リテラシーの教育をしっかりとやるのが大切。約束等、情報モラルについて勉強した上で持ち帰りを行うといい。（廣瀬委員）
- ・ 情報リテラシーは大事。時代の変化していくスピードが速いが、子供たちにはルールを教え、よりよい使い方をみんなで考え続けていきたい。（露木委員）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）飯田小いじめ防止基本方針について

生徒指導から資料に基づき、飯田小のいじめについての実態や「飯田小いじめ防止基本方針」についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 地域でも子ども同士の慣れから使ってほしくない言葉を聞くことがある。こうした言葉は、悪いことに発展する芽になると思う。今、地域の間が声をかけるのは難しいところもある。（白井委員）
- ・ ゴールデンウィーク前、公園で中学生の子供同士のトラブルがあり、警察が来て対応していた。警察と学校が連携する体制が必要ではないかと思う。（鈴木美委員）
- ・ 家の近所で、遊びからいじめに発展しそうなことがあったので、注意した。小学生からすると、中学生の子は怖い。地域の方々も含めて見守っていかないといけない。（廣瀬委員）
- ・ 子供の世界では、いじめに繋がりそうな芽はどこにでもある。多くの大人の目でいつも子供た

ちを見守っていくことが大切。温かい言葉で声掛けを続けていきたい。(露木委員)

- ・ 荒い言葉を使っても本人はそれほど思っていないことがある。暴力的な言葉に気付いた時に地域や身近な大人が注意できればと思う。(神谷オブザーバー)

(3) 学校評価(アンケート項目)について

校長から、別紙資料に基づき、学校評価のアンケート項目の内容について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 「支援している」という聞き方は、言葉が優しくていい。答えやすい。(露木委員)
 - ・ 昔、自転車テストがあり、免許を取らないと乗れなかった。また、スタントマンとかがきて、危険な事故を見せていた。今は、免許が無い為、交通ルールを知らない。今、自転車講習はやれないのか。(小野委員)
 - ・ 交通安全について語る会をしたり、事故の情報があつた時、その都度放送でルールを確認したりしている。自転車の乗り方は、各家庭で決めるようになっている。一人一人自転車に乗っての講習はなくなったが、交通安全指導は続けている。学校外では、家庭での支援や協力をお願いしたい。(校長)
 - ・ 交通指導員が来て、事故の実験的なことは今もやってくれている。一人一人の自転車講習については、自転車に乗れない子がいたり、学校まで個人の自転車を持ってくる際に危険があつたりすることから今は行っていない。(教頭)
 - ・ お年寄りや子供の飛び出しは怖い。注意喚起をこれからもしていきたい。(小野委員)
 - ・ 保護者の項目で、「お子さんが」の後に、「何に」を入れたほうが評価しやすい。(白井委員)
 - ・ 朝ごはんだけでなく、晩ごはんも入れてほしい。(鈴木美委員)
 - ・ ヘルメットの着用を徹底しているかを入れてほしい。(中村委員)
 - ・ 「約束」「基礎基本」は抽象的で保護者には伝わりにくい。具体的な言葉がいいと思う。(廣瀬委員)
 - ・ 「学校の約束」とか「学校のルール」に変えてもいいと思う。(鈴木大委員)
 - ・ 「支援」としているのがいい。支援…声掛け、見守り等の所に、正す、直すがあつてもいい。(神谷オブザーバー)
 - ・ 皆様の意見を参考に、もう一度考えてアンケート項目をつくっていきたい。(校長)
- 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 学校運営協議会の自己目標について

教頭から、別紙資料に基づき学校運営協議会の自己目標について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

(5) 「夢育やらまいか」意見書について

教頭から別紙資料に基づき、今年度の夢育やらまいか事業について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、第2回会議は、令和7年9月3日(水) 13時30分から家庭科室で開催する予定である旨の報告があつた。